

令和6年度 事業計画（案）

事業計画立案に当たって

この5年間に渡る新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛の影響による支出予算の減少により財政収支は少なからず改善されましたが、収入実績の毎年減少傾向には歯止めがかかりません。世間一般の状況から見ても、若年層を中心に同窓会に関する関心が薄らいでおり、この傾向はいずみ会においても例外ではありません。今後は高齢会員数の減少による収入減と合わせて若年層からの会費納入率の低さにより、さらに財政状況は悪化することが予測されます。その中において「20歳の集い」の開催を支援する活動を通じて、中高一貫校になってからの新しい会員とのつながりは強くなっています。このような状況から、いずみ会活動も必要な改革を行う時期にあると思われまます。

第1. 定時評議員会

令和6年5月25日（土）勤労福祉会館多目的室で定時評議員会と懇親会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月の開催、監査会は年2回開催とする。
2. 評議員会出欠に対する返信状況を把握し、返信のない評議員の更なる見直しを図る。
3. 評議員が選出されていない期に対して積極的にアプローチする。
4. 評議員会開催案内をはがきからメールによる案内へ切り替えると同時に一般会員への参加を促す。
5. 定例の理事会、部長会をZOOM等によるウェブ会議形式も併用して会議の効率化を図る。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 一般会員からの情報収集、フィードバック体制の構築を図る。
2. 初めての同期会として「20歳の集い（対象75期）」の開催を支援する。
3. 30歳、40歳、50歳、60歳になる年をきっかけに同期会開催を促すと同時に、総会を集いの場として利用する事をPRする。

第4. 会報発行、広報活動の充実

1. 会報68号は令和6年10月1日の発行を目標とするが、郵便料金の見直し時期、普通郵便（個別情報提供可能な手段）への移行の可能性を評価して、適切な時期・方法で発送する。
2. 会報、ホームページへの投稿・寄稿を会員に促進し、情報収集による内容の充実を図る。

第5. 総会及びホームカミングデー

1. 総会は、令和6年10月26日（土）に外部会場で会員相互の交流を図る場として開催する。
2. 総会開催前に行っていたホームカミングデーに代わる在校生との交流は文化祭を通じて行う事とし、多くの会員に文化祭への来場を呼び掛ける。

第6. 財政管理

1. 会報発送費削減のため、会費納入実績に応じた限定発送を継続する。
2. 同期会、総会、評議員会などの場を通じて、会費納入・寄付を呼び掛ける。
3. 会費納入方式（現金振り込み以外）を検討し、若い世代が支払い易い方式の導入の可能性を探る。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向けて、各期会員情報部幹事の活発な活動を促進する。
2. 高校77期の名簿を作成し、卒業時に配布する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、学校からの要請に迅速に対応し教育・部活動を支援する。
2. 文化祭等様々な学校行事の場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を広めていく。

第9. 人材バンク活動

1. 登録制度を活用して、多彩な人材を発掘し、卒業生の人材情報の充実を図る。
2. 会員相互の交流を図るような会員向け講話等のイベント開催を検討する。

第10. いずみ会創立80周年行事（令和7年10月25日開催予定）における企画内容を検討する

周年行事実行委員会を担当理事中心に3の会、4の会の代表メンバーを含め立ち上げ具体的な企画を提案する。また、周年ごとに行ってきた名簿発行に代わる事業として、ホームページ（スマホ画面への対応を含め）の再構築を検討し、これを契機に今後は5年ごとの見直しを計画的に進める。

以上